

気高地域の小学校統合に関する取組について

令和6年（2024年）6月発行 発行：鳥取市教育委員会事務局校区審議室

気高地域の新設統合小学校候補地の 「事前調査結果」を検討しています

令和5年11月から、令和6年3月にかけて新設統合小学校の「JR浜村駅南側の学校候補地」の測量調査やボーリング調査等事前調査を実施してまいりました。周辺地域の皆様、ご理解ご協力いただきありがとうございました。

調査結果の報告を受け、4月に開催した庁内検討委員会での議論を踏まえ、現在、対応について教育委員会事務局で整理しているところです。



事前調査結果による検討のポイント

- 1 「地盤対策や用地造成による近隣施設や住宅への影響」
- 2 「浸水リスクなど防災安全上の課題」
- 3 「通学路安全確保への道路整備の必要性」等



- ・「1」については、ボーリング調査の結果から比較的浅い地層に支持層が確認され、用地造成により近隣施設や住宅等に影響がないよう地盤対策が可能であることが見込まれます。
- ・「2」については、造成高で対応することや候補地を通る既設の基幹排水路の整備により、水害リスクが軽減されることが見込まれます。
- ・「3」については、通学路の検討やソフト対策もあわせ、必要な整備を引き続き検討してまいります。



◀資料はこちらから

鳥取市公式ホームページ
「気高地域の学校統合に関する取組等について」

【問い合わせ先】

校区審議室 電話:0857-30-8405
E-mail: kokushingi@city.tottori.lg.jp
気高町総合支所 電話:0857-82-0011
E-mail: kt-chiiki@city.tottori.lg.jp

これまでの主な経緯

気高地域の学校統合の主な経緯は、次のとおりです。

- 平成29年8月 逢坂の教育を考える会より「新設統合」の要望書が出される。
令和2年 宝木、瑞穂、浜村 各地区より同様の要望書が出される。
令和2年 9月 第14期校区審議会より「宝木小学校、瑞穂小学校、浜村小学校及び逢坂小学校の4校は、気高地域の中長期的な姿を見据え、新設統合する。」の答申が出される。
令和2年12月 教育委員会は、気高中学校区の小学校のあり方についての基本方針を決定する。
令和3年 3月 気高地域学校統合準備委員会(前期)を設置し協議を開始する。

〈統合準備委員会〉



地域、保護者、学校関係者など19名の委員からなる準備委員会の中で、学校の種類、設置位置、中長期的な姿を見据えた統合の方法等について議論される。

- 令和4年 2月 気高地域学校統合準備委員会(前期)より検討結果及び報告書が提出される。

【結論】

将来展望を見据えると、「JR 浜村駅周辺に新規用地を取得され新しい学校づくりを進めていただきたい」といった委員の意見が多数を占めることとなった。

- 令和4年 4月 庁内検討会を設置し協議を開始する。
令和4年11月 関係者会議を設置し協議を開始する。

〈関係者会議〉



庁内検討会でまとめた内容等について協議をしていただき気高地域の「まちづくり」を踏まえた意見をいただくため、気高地域振興会議委員と保護者代表等を中心とする19名からなる「気高地域学校統合に関する関係者会議」を立ち上げ議論される。

- 令和4年12月 関係者会議より「気高地域のまちづくりを見据えた統合新設校の設置場所等に関する意見について」が教育委員会へ報告される。

【結論】

気高地域の将来のまちづくりの方向性や、今後更に、児童生徒が減少した場合の義務教育学校への移行を考えると、「JR 浜村駅南側の新規用地」が統合新設校の学校づくりを進めるうえで最適地である。

- 令和5年 4月 教育委員会は、気高地域の小学校の新設統合の基本方針を決定する。
令和5年11月 事前調査業務を実施する。
令和6年 3月 事前調査業務報告書を収受する。

今後について



関係する部署との協議を踏まえた上で、総合的に判断し、学校候補地として適地となれば、鳥取市教育委員会において新設統合小学校の予定地として正式決定します。その後、地域住民の皆様への説明も実施します。また、文化財試掘調査の実施を検討します。